

泉の自治だより

題字は県会議員 岡田 備

No. 43

発行所 泉自治区連合会
 発行責任者 連 区 長
 事務局 (泉公民館内)
 土岐市泉町中寮町
 TEL.55-3653
 編集委員長 甲川清治

土岐市民憲章
 一、自然を愛し、美しい土岐市をつくりましょう。
 一、きまわりを守り、明るい土岐市をつくりましょう。
 一、健康で働き、豊かな土岐市をつくりましょう。
 一、教養を高め、伸びゆく土岐市をつくりましょう。
 一、力を合わせ、住みよい土岐市をつくりましょう。

より住みよい街づくりを目指して



平成9年度連合区の役員一同

一年を振り返って



泉町連合区長会長
田中重雄

昨年の四月に新制度のもとの専任の連合区長に就任して、「愛するわが町のために」と題する挨拶文を泉の自治だよりに掲載して頂いてから、早いもので、もう一年になります。

その間、会長職については試行錯誤の連続でしたが、理解ある皆さん方の温かい御指導・御鞭撻に支えられて、何とか大過なく任務を果たすことができましたことを、先ずもって厚く御礼申し上げます。

さて、自治会活動の中で、数多い会合や行事に参加させて頂いて、私どもの生活や環境が如何に多くの人々の献身的活動に支えられているか、つくづく実感させられました。地域の生活向上を目指すためには、その軸になる自治会活動は絶対不可欠でありますし、地域住民一丸となってそれを守り立てて行かなくてはならないと思っております。

わが泉町は、土岐市の中でも都市化が進んだ地域だと言われます。よそからの転入者も多く、自治会活動をよく理解して頂いていない部分もあるように思います。もしも市民税を払っているから市民へのサービスは市がやるのが当然で、自治会活動などに参加する必要はないといった意識があるとするれば、とんでもない考え違いです。自分達の周囲のことは自分達で責任を持って処理するところから地域生活の向上も生れるのです。

自治会活動の成果は一朝一夕に得られるものではなく、息の長い継続的努力の積み重ねによって獲得されるものであります。これからもみんな力で合せて郷土をよりよくすることに努力して行くことはありませんか。

平成九年度を顧みて



河合区長
伊藤英夫

区長という分に過ぎた大役を頂き微力ながらこの一年務めさせて頂きました。人頼りせず主体的に動く姿勢で自分だけよしとせず相手の利益も計り行動の基準を、自分もよし相手もよし第三者もよしという考えで進めて参りましたが振り返ってみればスローガンで終り反省する事ばかりです。幸いにして役員各位の良きアドバイスと協力を頂きましたお蔭で無事務めを終らせて頂くことができました。「有難き幸せこれに優るものなし」と心より感謝致しております。

「松茸山の採取権利を一年から三年に延長しました」

松茸山は区の運営費の

五割強を賄う重要な資金源です。過去六年間の落札価額の平均を出し落札者には高からず区として安からず平均より低めに設定し、設定値以上の落札者には三年間の松茸山の権利を差上げましょうと言うことで行いました結果、一区画を除いて平均値以上で落札して頂くことができました。

「手入れもせずに只売るだけ」と言われて久しい松茸山ですが、当面松茸山は権利者に任せて、区として最低限の義務として境界の刈り込み、区画の名札付けなど継続して整備して行きたい所です。南市議のユニークな茸山下刈り案は将来連合区で協議して頂きたい問題です。

「どうなん問題」は、一介の無知蒙昧の輩が論ずべきではないので控えてさせて頂きます。

色々と学ぶ事ばかりで現役兼での諸事多忙の一年でしたが、年初役員に誓ったよよい思い出に残る一年に果たしてなり得たかどうか、産土の神に参じて陳謝致し区民の安全とご守護をひたすら祈願させて頂くのみであります。

百 拜



毎日が新鮮



DO YOUR SHOPPING HERE PLEASURELY
TOKI SHUFU NO MISE

主婦の店 土岐店グループ

●主婦の店土岐店 ●サンマート ●エー・エス・シー(A, S, C)



主婦の店

いい人・いい街・いい暮らし

生活を面白くするMYCALカード

サティのカードはすぐ使えるカードです。

お申込みはカンタン

●3F/サービスコーナー又は特設カウンターで

生活百貨店



SATY

土岐サティ

会 員
募 集 中

土岐市泉町久尻42-11 TEL.0572-55-5011

伝 統



観音堂 社務所 公民館

定林寺区長 沢田 修



情報化になって通信網は、ものすごく進んでいる。なか電話を携帯できるようなり、ひとりひとりが持つて歩くこの世の中。私達、子供の頃は夢のような時代です。この夢も未来に向って行くには一年間にいろいろな行事、又祭り事をするには大切なことだと感じます。

一年をふりかえって



大富区長 初川 幸明

定林寺には四百年からの歴史ある観音菩薩が、初夏になると九万九千日祭で各町内力を合わせたの置物造り、そして皆さんに見ていただくように定林寺内だけでなく、泉町からもっと地方に迄知れ渡るように思うところ。そして豊作を願う稲荷神社の秋祭り、春には初午祭もこの地区の宝として大切に守ってゆくことだと思えます。

この土地に生れ育って六十年。子供の頃には祭りに朝から歌が流れ野郎が並び、学校から早く帰ってくるのが楽しみで、忘れられない思い出があり

この一年間、一、地区集会所問題の早期決着 二、環境整備と町内美化運動の推進

この二つを重点目標に掲げ、「和を尊び、小異を捨て大同につく」の精神で協力して頂くよう、広報や区会を通じて広く区民の皆様のご理解と徹底を図って参りました。



駅前区民会館建設請願書希望地

この三つの中、一、は盆踊りを盛んにし陽転を図ったこと。二、は署名運動により一五四名の署名を戴く事が出来たこと。三、に付いては時間が無く申し

「案ずるより生むが易し」という諺があります。私はいまこの言葉をしみじみと噛みしめております。と申しますのは、昨年はじめに久尻区長という大役をお引受けしたときには、正直にいつか果して自分にこの重い責務が完うできるだろうかという不安で一杯でした。しかし、間もなく任期満了となる今日まで、何とか皆様のご支援のお蔭で微力を尽くすことができ



久尻区長 中嶋 則夫

区長の一年を振り返って

送る事にしたこと。一、二は、駅前区としての方向性を見出せたものと存じます。三、地方自治法第二〇六条第二項による、むしろ必須の条件ですから、今後の自治会活動の為に区民の皆様の一致団結により実現を図って戴きたいものです。次に、今後駅前区が早期に解決を図らねばならない事項を挙げて置きますので、ぜひ新区長さんのもとに区民が団結して実現方をお願いして置きます。

頑張れ駅前区 団結で問題解決を



駅前区長 加藤 保典

お蔭をもちまして任期も余す処わずかととなりました。区長としては甚だ微力な私でありましたが、三役、各町内会長さんの強力なご支援とご協力を戴き、更には区民の皆様からも温かいご支援を賜り、大過も無く今日を迎える事が出来ましたこと、誠に有難く感謝に堪えません。

一、現久尻区と駅前区の共有財産(旧久尻区山に係る権利)の確保。二、財産の調整。三、生産森林組合と区有財産の調整。四、有難うございました。

一、二は、駅前区としての方向性を見出せたものと存じます。三、地方自治法第二〇六条第二項による、むしろ必須の条件ですから、今後の自治会活動の為に区民の皆様の一致団結により実現を図って戴きたいものです。

安心出来るご葬儀を

名陸自認可 霊柩車事業・通産省認可 全葬連加盟店

総合葬祭 やまと葬祭

● JR 共済組合指定 ● 電気通信共済会指定 ● 郵政弘済会指定

土岐市泉岩畑町2-59(駅ウラ)

54-3421
54-8378
FAX 55-0124

ちようだい よって長大! みて長大! かつて長大!

カシヨッポ **長大**

営業時間 AM 9:30 ~ PM 9:00

土岐市泉神栄町2丁目62 TEL 55-1844

できたものの、大半は諸の事情で先送りとなったことは、まことに申し訳なく思っております。

そのほか、昨秋に市や警察から提案された大坪町内の交通規制について、区会での審議や地元住民へご協力をお願いした上、関係方面へ根本的な改善を申し入れてきました。また、東海環状自動車道の五斗峠パーキングエリア建設についても、市当局と地元住民の話し合いが再開され、解



市会議員 矢島 成剛

三市合併と泉町

多治見・土岐・瑞浪と笠原町の三市一町の合併問題は、私が高校生の昭和四十年代初期にすでにありましたが。当時は、只何となく「大きな都市になればいいな」と思い、アンケート用紙に賛成と○を書いて提出したことを思い出します。

後年、町民全体、市民全体のことを考える議員という立場になりましてから、いろんなことを勉強させて頂くうちに、泉町には、土地の権利の問題という難しいことがあることが解つてまいりました。

土地の権利の問題とは何かといいますと、昭和三十年二月、泉町とその他計八ヶ町村が合併して、今の土岐市が誕生した時、

決まっていたので、決まっていたことでも本心に喜ばしい問題については、後任の区長や役員の方々に引き続き鋭意努力して頂くよう申し送ります。

最後に、こうして何とか区長としての責務を果たすことができたのは、ひとえに久尻区の皆様のご協力と、泉町連合区役員各位のご指導の賜物と、この紙面をお借りして厚くお礼を申し上げます。



市会議員 梶岡登志夫

ゆつこつ個性ある教育をめざして

戦後五十年時の移り変わりとともに人心も世代や社会も大きく変化しました。

教育においては昭和二十二年に旧制高校が廃止となり新制高校ができた。私たちが年代の時代であった。その六年後頃から受験競争なるものが台頭してきた。向学心を高めるためということで偏差値が考案され、そして予備校が出現しその存在感を増した。以来教育は六三四制を一貫して続けてきたが、今本場に日本の将来を憂慮する識者は「これからの日本において必要なのは、まず教育である」と叫んでおられる。

その結果、現在各区内において、毎年秋には、「土岐市有地」を使って葺山

の売り出しをし、区の財政に寄与しているのです。こういう権利を有しているのは、泉町だけではありません。

仮に首都機能の移転が合併時に、駄知町のよさに併せてきた町もありません。泉町にとっては、この権利は当然のことと考えられますし、今後とも受け継いで行かなくてはと考えています。又合併については、泉町にとってのメリット、デメリットの議論を大いにしなくてはならないとの声も出はじまりました。考えています。



首都機能移転対策特別委員会 委員長 和田 全弘

首都機能移転の動き

今年一月十六日に国会等移転審議会が候補地選定の前提となる現地調査の対象三地域を発表した。東濃地域は、愛知県三河地域、静岡県西部を含む「東海地域」に組み入れられ誘致実現に向けた第一の関門をクリアしたといえる。着工は二〇〇三年以降と決まり、ややペースダウンしていた首都機能移転が、調査対象地域決定で誘致活動も活発になるだろう。

審議会は、来年秋には候補地を決定する予定で、「東海地域」は、東濃地域から愛知・三河地域・静岡・西部にまたがるエリア。このほか北東地域は宮城、福島、栃木、茨

の九項目及び二つの配慮事項、①新都市建設等にかかわる経済的効率、②自然的環境等への影響を踏まえて、移転先の選定を進めています。

審議会の関係県知事のヒアリングは四・五月に行われ、岐阜県知事は四月二十三日に参加される。審議会はその後、夏から秋にかけて現地調査を行い、来年秋までに候補地を決めて、東京との比較検討を行い、移転を正式決定する運びとなる。

国土庁は今回の調査地域の地価上昇を懸念し、土地取引の状況を監視するような関係県に通知した。

岐阜県では他県に先駆けて東濃地域に地価動向の観測地点を多く設け、県知事は「県ゴルフ場連盟の協力でいざという時にはゴルフ場を提供する約束もできている」とし、地価抑制と環境破壊を最小限にとどめるとして岐阜県の優位性を訴えている。さらに、東海四県の枠組みを堅持し関西、中国圏とも合体して、「日本の真中か、北東か」の選択を理解してもらう方針です。

- ① 日本列島上の位置
- ② 東京からの距離
- ③ 国際的な空港の必要性
- ④ 土地取得の容易性
- ⑤ 地震・火山の災害に対する安全性
- ⑥ その他の自然災害に対する安全性
- ⑦ 地形等の良好性
- ⑧ 水供給の安定性
- ⑨ 既存都との適切な距離

地元の新聞 皆様の中日新聞

チラシで潤う家庭経済
明るい家庭に中日新聞

取扱新聞 中日新聞・中日スポーツ・日本経済新聞
中部経済新聞・証券新聞・工業新聞
英字新聞 他20種類

土岐市泉郷町3-35

中日新聞 平岡新聞舗
TEL 55-2335



コスモガス
コスモ石油ガス株式会社

簡易ガス事業

泉北ガス株式会社

本社 55-3765
営業所 55-1819

